

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	36206
----------	-------

1. 開設大学	広島都市学園大学	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (宇品キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	地域を支える「訪問看護ステーション」を作ろう					
	学問分野	番号	34	名称	保健 (看護)	
3. 担当教員	武田 留美子					
4. 開講期間 (曜日)	令和 8 年 8 月 4 日 (火)					
開講時間	13 時 00 分 ~ 16 時 10 分 (90 分 × 2 回)					
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
5. 募集定員	20 人					
6. 科目内容・授業計画	<p>1. 講座のねらい 看護師の活躍の場は病院だけではなくありません。超高齢社会の日本において、今最も必要とされているのは、住み慣れた家や地域で「その人らしく生きる」ことを支える看護の力です。本講座では、架空の町を舞台に、生徒の皆さんが「訪問看護ステーション」の経営者 (プロデューサー) になりきります。病院での看護と、地域での看護の違いや共通点を学び、これからの看護を担う皆さんに新しい看護の形をデザインしてもらいたいと思います。</p> <p>2. 学習目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病院看護と訪問看護の役割の違いを理解し、生活を支える看護の視点 (生活モデル) を知る。 ● 地域の潜在的なニーズ (困りごと) を発見し、自由な発想で解決策を提案できる。 ● 看護師が多職種や地域住民と連携する「街のコーディネーター」であることを理解する。 <p>3. 講義スケジュール (90 分 × 2 回) 【第 1 回】 導入・コンセプト立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 訪問看護の歴史と魅力について ● ワーク (1) 架空の町をもとに訪問看護ステーションを作る <p>【第 2 回】 地域のデザイン・プレゼン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワーク (2) こだわりサービスや看護を自由な発想で考えてみる ● 最終プレゼンテーション: 各チームが考案したステーションの魅力発表 ● まとめ 					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件 ※1 あり・ない	① 最少開講人数 (5 人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日: 6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 持参物: 筆記用具、飲み物 服装は自由					
開設大学への交通手段	宇品キャンパス https://www.hcu.ac.jp/guide/access/					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。